

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370301570
事業所名	グループホーム あさひ名北

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	敬老会や夏まつり、クリスマス会に地域の人が参加したり、近所の小さい子供たちが遊びに来たりして、関わる機会が多い。また、神社へお参りに行ったり、清掃活動に参加したり防災訓練に参加して地域への外出の機会も多い。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月毎に年6回行われている。ドクターからは、季節ごとの病気についての注意事項を聞いたり、民生委員からは地域のお年寄りの状況について教えてもらったり、いきいき支援センターからは、認知症カフェについての説明や活用について話してもらうなど様々な情報を出席者より得て、活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	生保の利用者が数名いるので、書類の提出や役所職員の訪問があり、その都度連携を図っている。管理者は昨年代わったばかりなので、書類のことや制度のことで分からないことは、電話などでも相談している。市町村主催のキャリアアップ研修や口腔ケア、看取りなどの研修には、積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族の来訪時には、必ず声をかけ要望等聞いている。何かあれば、職員が連絡ノートに書き会議で検討し、全員で共有している。「めいほくだより」を年2回発行し、写真で様子を伝え、一人ずつに向けた手書きのメッセージを書き送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				